

1) 行徳湿地の情報の整理

- ①行徳湿地の自然環境に係る資料
 - a) 自然環境に係る資料 [資料4]
 - b) 陸域部の生物生息環境について [参考資料4-1]
 - c) 汀線部の生物生息環境について [参考資料4-2]
 - d) 行徳湿地現存植生図 [参考資料4-3]
 - e) 行徳鳥獣保護区のチョウ類群集第1報 [参考資料4-5]
 - f) 行徳湿地航空写真 (H220220 時点) [参考資料4-6]
- ②行徳湿地の機能の整理 (生態系サービス等) [参考資料4-4]

- ③行徳湿地の出来事年表 [参考資料4-7]

2) 行徳湿地の目指すところ

- ①行徳湿地の位置付け (再掲) [資料5]
- ②目標 (エコミュージアム等) の“利用の視点”での過不足検討 [参考資料5-1]
- ③特長的な機能の“利用の視点”での過不足及び具体化の検討 [参考資料5-2]
- ④目標生物のカテゴライズ (分類) [参考資料5-3]
- ⑤目標とする鳥類から見た生息環境のイメージ図 (素案) [参考資料5-4]
- ⑥南行徳水辺の周回路整備構想図 [参考資料5-5]
- ⑦行徳湿地の特徴的な機能を高めるための施策実施に向けて [参考資料5-6]

3) ゾーニング

- ①行徳湿地の目標に向けた概念図 (素案) [資料6]
 - ⇒ “行徳湿地の情報の整理” “行徳湿地の目指すところ” の検討結果を踏まえ、行徳湿地をゾーニングするためのコントロールポイントを図に整理した。
- ②ゾーン毎のイメージ図素案
 - a) 保全ゾーン (仮称)
 - b) 触れ合い・体験ゾーン (仮称)
 - c) 条件付き開放ゾーン (仮称)
 - b) 常時開放ゾーン (仮称)

行徳湿地の将来像の検討の進め方（案）

検討項目	検討時期
1. 基本計画の環境面の現状等について確認 (現状等について共通認識を図る)	H23.2.25 の WG で確認済
↓	
2. 行徳湿地の将来像のイメージ図（叩き台）の確認	H23.2.25 の WG で確認済
↓	
3. 行徳湿地の情報の整理と現況の追加調査（4 と同時並行） ・ 環境条件と最低面積の整理と生物種の絞り込み ・ 生態系サービスの視点での整理 ・ 陸域部（淡水池）の生物を中心とした現況調査	H23 の春～夏
↓	
4. 2 を基に行徳湿地の目指すところ（位置付け）の具体化 (行徳湿地を特徴づけたり、人を引き付ける要素等の確認)	WG による検討
↓	
5. 行徳湿地の目標に向けた検討項目・優先順位案作成	
↓	
6. 行徳湿地の目標に向けた概念図（素案）の作成	H24.3.13 の協議会で確認
↓	
7. 行徳湿地の目標に向けた検討項目・優先順位の検討	
↓	
8. 行徳湿地の目標に向けた概念図（案）の作成	H25.3 頃の協議会を目標
↓	
9. 行徳湿地の目標に向けた再整備の優先順位の検討	
↓	
10. 最優先となる再整備事業（案）の作成	H26.3 頃の協議会を目標
↓	
行徳湿地の将来像の検討時期の一定の目途	
↓	
その後は、	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行徳湿地再整備事業の推進と順応的管理。 ・ 環境面、管理利用面での関係機関との連携・協力体制強化への努力。 	

行徳湿地の将来像の検討の進め方（素案）

H23.3.25 協議会資料

検討項目	検討時期
1. 基本計画の環境面の現状等について確認 (現状等について共通認識を図る)	H23.2.25 の WG で確認済
↓	
2. 行徳湿地の将来像のイメージ図（叩き台）の確認	H23.2.25 の WG で確認済
↓	
3. 行徳湿地の情報の整理と現況の追加調査（4 と同時並行） ・環境条件と最低面積の整理と生物種の絞り込み ・生態系サービスの視点での整理 ・陸域部（淡水池）の生物を中心とした現況調査	H23 の春～夏
↓	
4. 2 を基に行徳湿地の目指すところ（位置付け）の具体化 (行徳湿地を特徴づけたり、人を引き付ける要素等の確認)	H23.9 頃の WG を目標
↓	
5. 大ゾーンでのゾーニング（保全・管理利用の観点）	
↓	
6. 中ゾーンでのゾーニング	
↓	
7. 小ゾーンでのゾーニング	
↓	
8. 行徳湿地の将来像のイメージ図（素案）の作成	H24.3 頃の協議会を目標
↓	
9. 行徳湿地の現状、基本計画に対する進捗状況の整理	
↓	
10. 基本計画の過不足の整理	
↓	
11. 基本計画の見直し(案) の作成	
↓	
12. 行徳湿地の将来像のイメージ図（案）の作成	
↓	
13. 再整備計画（環境面での整備の進め方）の検討	
↓	
14. 管理利用計画の検討	